

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23595
事業名	スクールカウンセラー活用費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-211-3861
施策名	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸び					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成			○ その他		

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	・いじめの深刻化や不登校児童生徒の増加など、児童生徒の心の在り様と関わる様々な問題が生じていることを背景として、児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校における教育相談体制の充実を図るため、臨床心理に専門的な知識・経験を有する学校外の専門家を一層積極的に活用する必要が生じてきており、学校、PTA等から配置時間数増加の要望が寄せられている。 ・虐待対策、いじめ・不登校対策、貧困対策のための重点配置が国から求められている。
	事業内容(何を実施し)	・全ての小・中・高等学校・特別支援学校及び中等教育学校にスクールカウンセラーを配置し、学校の教育相談体制の充実を図る。 ・配置にあたっては、小中連携を重視し、できる限り小中学校のパートナー校を基本としたスクールカウンセラーの配置をすることで、小学校と中学校それぞれの教育相談体制の充実を図る。 ・スクールカウンセラー連絡協議会を年2回開催(2回目は書面開催)し、スクールカウンセラーの効果的な活用等について周知する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	不登校やいじめなどの生徒指導上の課題の未然防止に向けた取組へのスクールカウンセラーの参画を働きかけ、学校の教育相談体制の充実に資するとともに、不登校やいじめ等の生徒指導上の課題の改善を図る。
	他都市の状況	文部科学省が、全ての小・中・高等学校・特別支援学校及び中等教育学校にスクールカウンセラーを配置することを目的として行っている事業であり、他都市でも同様の事業が行われている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	245,120 千円	うち特定財源	80,366 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	246,000 千円	うち特定財源	82,562 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	242,884 千円	うち特定財源	80,462 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	317,000 千円	うち特定財源	107,231 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	小学校におけるスクールカウンセラーの配置時間数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		69	69	69	140	140	140
	↓						
	アウトカム成果指標1	悩み等があるとき、誰かに相談できる児童生徒の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		92.30%	92.50%	92.70%	93.50%	94.00%	95.00%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標及び成果指標ともに令和4年度と比べて同割合または増加していることから、今後も事業内容の充実を図ることで目標の達成を目指す。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	令和6年度から、小学校の配置時間数140時間となったことから、学校におけるいじめ防止の取組等に一層積極的に関わることができるよう事業の充実を図る。
来年度以降の方向性	大規模校においては、1名のスクールカウンセラーでは児童生徒やその保護者の多様な悩みに寄り添うことは困難なため、大規模校へのスクールカウンセラーの複数配置について実現できるよう進める。